

令和2年度 鶴見区災害ボランティアネットワーク事業計画

※新型コロナウイルス感染防止のため、日程・内容が変更されることがあります

鶴見区災害ボランティアネットワークでは、災害時の支援活動を積極的に行うボランティア並びに ボランティア団体がお互いの主体性を尊重し、平常時から分野を超えて幅広く交流し、ボランティア団体、関係機関、社協及び行政との連携の充実を図るために事業を行います。

特に今年度に関しては次の3点を重点項目とします。

1. 災害ボランティアシミュレーションについて

体験者を多く増やすために開催時間帯、開催場所を工夫して、時間にゆとりを持ち、地域防災拠点の役員、区役所の職員が参加しやすい状況で実施します。

2. 地区センターとの連携

災害ボランティアセンター開設候補である地区センターと今後災害が起きた時の立ち上げに備え、関係、連携を構築にしていく。

3. 鶴見区災害ボランティアネットワーク会員の増強

近年減少傾向にある災ボラ会員については、研修会、パンフレット配布、広報を通じて会員を増やす。

1. ボランティア、ボランティア団体、関係機関等の交流と情報交換

(1) 運営委員会の開催

以下の日程で原則午後6時から開催します。

7月22日(水)、8月26日(水)、9月23日(水)、
10月28日(水)、11月25日(水)、12月23日(水)、
令和3年1月12日(火)、2月24日(水)、3月24日(水)

運営委員会では、事業の検討及びボランティア・団体・施設・区役所との情報交換を行います。

(2) 総会の開催

総会を開催します。合わせて防災に関心のある地域の方も対象とした研修会を開催します。※書面審議の予定

(3) 災害ボランティアネットワークAブロック連絡会への参加

近隣区(鶴見、神奈川、西、中、南)の連携をはかるため、持ち回りで連絡会を実施し参加します。

(4) 神奈川・横浜災害ボランティアネットワーク会議及びその主催する研修会への参 県・市域での防災関係の情報を取得・共有し、関係団体・機関との連携をはか ります。

2. 災害時の支援活動を行うための検討・研修

(1) 災害ボランティアシミュレーション、防災関係研修等の実施

一般の方や地域防災拠点の担当者を対象とした災害ボランティアシミュレーション訓練を行います。加えて、地域の方を対象としたDIT、HUT、クロスロード等の研修会を行います。また、地域防災拠点から依頼を受け防災訓練等に参加

(2) 発災時の活動の検討と関係機関との共有

関係団体・機関、区役所、区社協と連携した災害時の具体的な動きについて検討・情報共有します。特に、市災害ボランティアセンターとの連絡手段としてIP無線機の運用をします。

3. 災害時に効果的な活動を行えるコーディネーター等の養成

(1) 災害ボランティアシミュレーション等を実施する中で、災害ボランティアセンターを円滑に運営する能力や、運営に有効な情報の収集能力を高めます。

(2) 災害ボランティアコーディネーター研修等により災害時に活動を担う人材を育成

4. その他、目的達成のため必要な事業

(1) 災害ボランティアのPRと区内関係団体との連携

一般の地域の方が集まる機会（臨海フェスティバル等）に、PRパンフレットの配布、活動パネルの展示、防災啓発等を行い、興味関心を持つ方及び会員の増加をはかります。

災害ボランティアを含め防災活動意識の普及啓発をめざし、出張講座等の依頼に対応します。

(2) 防災意識の醸成

会員が、地域防災拠点の方々やボランティア関係団体・当事者団体及び大学生と合同で訓練・研修を行う等、防災への興味・関心を高める活動をします。